

# 經濟論叢

第111卷 第1号

- 
- 軍需生産の諸問題……………木原正雄 1
- 標準商品(Standard Commodity)の意義……………瀬地山敏 18
- フォード低価格政策形成の意義……………小野秀生 41
- 株式資本と平均利潤率の法則……………若林洋夫 63
- 

昭和48年1月

京都大學經濟學會

## 京都大学経済学会規則（抜萃）

- 第2条 本会は左の会員をもって組織する
- (イ) 正会員 1. 京都大学経済学部教授、助教授、講師、助手及び同学部出身者  
2. 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者  
3. 評議員会にてとくに認めたもの
- (ロ) 学生会員 京都大学経済学部学生
- (ハ) 賛助会員 本会の事業を賛助するもの
- 第3条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の頒布を受ける個人及び団体は購読会員とする
- 第4条 特別の場合に限り前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる
- 第6条 本会は左の事業を行なう
1. 機関誌「経済論叢」を発行すること  
「経済論叢」は毎月1回発行すること、ただし臨時特別号を発行することがある
  2. 「経済学研究叢書」を発行すること
  3. 毎月1回学術研究会を開催すること
  4. 毎年1回公開講演会を開催すること
- 第9条 会員には雑誌を配布する、ただし臨時特別号はこの限りでない
- 第10条 会員は左の会費を納めなければならない
- (イ) 正会員 年額 2,500円 (ハ) 賛助会員 年額 10,000円以上  
(ロ) 学生会員 年額 2,500円 (ニ) 購読会員 年額 2,500円

### — 既 刊 目 次 —

#### 第110巻 第5号

哀 辞

故松井 清教授遺影および原稿

産業コンツェルン	堀	江 英 一
創業利得と利益留保	高	寺 貞 男
不生産的階級と生存競争の組織化	池	上 惇 惇
GMにおける予想制度と基準価格制度の形成	小	野 秀 生
個人的消費と労働力再生産の社会的性格	成	瀬 龍 夫

記 事

松井教授逝く

追悼講演（吉信 肅・森下二次也・山岡亮一）

追憶談（田畑茂二郎・杉本昭七・関下 稔・鈴木 明）

故松井 清教授略歴・著作目録

#### 第110巻 第6号

ヒース保守党政府と社会保障	岸	本 英太郎
労働経済論の課題と方法	小	川 登
財政危機と労働力管理機構の発展	成	瀬 龍 夫
優先制度と戦時統制手段の開発	林	堅 太郎

執筆 者 紹 介 (掲載順)

木 原 正 雄	京都大学教授
瀬 地 山 敏	京都大学助教授
小 野 秀 生	京都大学大学院学生
若 林 洋 夫	京都大学大学院学生

||| 会員各位へ ||| 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部  
京 都 大 学 経 済 学 会  
振替口座大阪50539番
  1. 会費年額 2,500円(前納)
  1. 会員各位の本籍, 現住所, 氏名, 出身高校名, 卒業年次, 就職先を学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

昭和47年12月25日印刷  
昭和48年1月1日発行

編 集 兼  
発 行 人

京 都 大 学 経 済 学 会

印 刷 所

内 外 印 刷 株 式 会 社  
京都市下京区西洞院七条南入ル

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会  
606 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町  
振 替 口 座 大 阪 50539 番

定価 280 円

発 売 所

株 式 会 社 有 斐 閣  
101 東 京 都 千 代 田 区 神 田 神 保 町 2-17  
振 替 口 座 東 京 370 番  
本 郷 支 店 113 文 京 区 東 京 大 学 正 門 前  
京 都 支 店 606 左 京 区 田 中 門 前 町 44

# Keizai-Ronzo

(THE ECONOMIC REVIEW)

---

---

Vol. 111, No. 1

January 1973

---

---

## CONTENTS

Problems of War Industry.....	<i>Masao KIHARA</i>
On the Standard Commodity.....	<i>Satoshi SECHIYAMA</i>
On the Low Pricing Policy of Ford.....	<i>Hideo ONO</i>
Stock Capital and Average Rate of Profit .....	<i>Hiroo WAKABAYASHI</i>

---

Published

by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)